

# 「モノづくりは、人づくり」



1932年「家庭用ミシン国産第1号機「15種70型」

写真提供：ブラザー工業株式会社 <写真説明文>表紙裏

#### ◆内容◆

- 1 巻頭言 トヨタ紡織(株)相談役 好川純一  
中部品質管理協会会長
- 2 我が社のQC活動～三菱電機(株)名古屋製作所～
- 3 協会だより（品質経営塾紹介、品質コラム）

## 新年のご挨拶

### ～昇龍のごとく中部から世界へ～

中部品質管理協会 会長

好川 純一



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、3月に甚大な被害と悲しみをもたらした東日本大震災、世界経済金融危機による未曾有の円高、アフリカ北部などの国々での内紛・新政府樹立、タイの大洪水等々、世界を巻き込んだ大きな出来事が次々と起こりました。その多くが、いままでの価値観をゆさぶり、我々に今後基軸としてゆくべきものの再考を、深く促してくれる機会となったように思います。

こうした変革の時に当協会は、創設40周年の記念行事を昨年5月に開催し、歩みを振り返る40年史も発刊させていただくことができました。これもひとえに、創設以来ご支援をいただいている会員企業及び地元企業の皆さま、また故西堀榮三郎先生をはじめ今までに携わってこられた数多くの指導講師の方々、長期に亘るありがたいご支援の賜物と心より厚くお礼申し上げます。また昨年は私事ながら、長年勤めて来たトヨタグループの原点でもある、「豊田自動織布工場」が100周年を迎えるなど、グループとして創業の精神に立ち返る機会もありました。

これらのことを通じて改めて、本地区では「モノづくりは、人づくり」の精神を、時代を超えて培ってきたのだと強く思います。豊田佐吉翁はじめ本地区産業の創業の志士達からの縦糸を、それぞれの時代の諸先輩方が創意工夫という横糸で紡ぎ織られた、柔軟で彩り鮮やかな布を、今後も途絶えさせることなく、本地区のモノづくり文化とともに人々に伝え、織り続けてゆかねばなりません。

モノづくりは、まずは従業員の安全、次に品質で、最後に生産性です。安全性、品質を高めることができれば生産性も高まるものです。収益は結果として、その後についてくるものです。その舞台は今や世界です。例外なくだれもが世界の産業とつながり、世界はお互いに関わり合い成り立っているのです。佐吉翁が障子をあげ放ち、報徳思想で国や民を豊かにしようと広い世界へ夢見て旅立ったように、この世界的混乱・変革の時代に恐れることなく、そして萎縮することなく、我々も辰年にあたり、滝壺から昇龍のごとく立ち昇る勢いで、持てる技術と知恵を振り絞って飛躍する年にしようではありませんか。

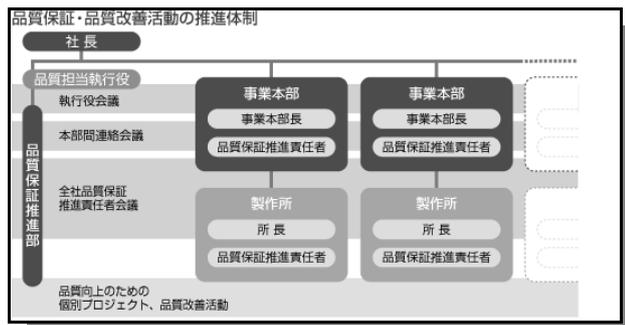
中部品質管理協会も、今春、事務所を名古屋国際センタービルへ移転し、来るべき50周年へ向かいます。これからも「世界をリードする中部のモノづくりへの貢献」という創業の精神を受け継ぎつつ、人・モノを含めた企業の「質」の更なる向上を目指して、皆さまの視点に立って、自己変革しサービスの創出に励む所存です。今後ともご指導ご支援を宜しくお願いいたします。

＜今月の表紙＞日本で使われているミシンのほとんどが輸入品だった頃、「輸入産業を輸出産業にする」という大志を抱いた兄弟がいました。父が開業したミシン修理業を継いだ安井正義・実一ら兄弟は、家業のミシン修理に追われながら「ミシンを国産化したい」という夢を実現すべく、ミシンの開発に心血を注ぎました。当時、国産化は不可能と考えられていた、ミシンの心臓部にあたる部品・シャトルフックの開発に実一が成功します。これを追い風に、昼夜をいとわぬ研究の末、1932（昭和7）年、ブラザーの家庭用ミシン第1号機「15種70型」がついに完成。ブラザーのモノ創りのDNAがここに凝縮されています。

## 《シリーズ》我が社のQC活動

### 三菱電機株式会社 名古屋製作所

弊社は製品分野別に事業本部制をとっており、それぞれの事業本部には複数の製作所が所属しています。そのために、全体を統括する部門を社長直下に置き、事業本部をまたがる推進をしています。



2001年に制定された7つの行動指針に示されている品質の項目(品質:最良の製品・サービス、最高の品質の提供を目指す。)は、1952年に制定した社是「品質奉仕の三菱電機」を具現化するために定めた四つの品質基本理念を反映したものであり、現在にいたるまで三菱電機グループの社員一人ひとりに脈々と受け継がれています。この基本理念のもと、全社に品質保証・品質改善活動体制を整備すると共に、品質保証に関する規則を定め、品質に関する法令・規格を遵守し、品質保証及び品質改善活動を展開しています。個々の製品については、国内・海外の製作所が責任をもって品質を保証し、具体的な改善活動を実践しています。

#### 四つの品質基本理念

1. 品質は第一であり、納期・価格などに優先する
2. いかなる犠牲を払っても良い品質をつくるという目標は変えることはない
3. 安全にして使用に便なるもの、妥当な寿命をもち、性能が均一であること
4. 品質に対する責任は、個々の製品の品質に関してそれぞれの製造に関与する全ての経営者・社員が等しく負わなければならない

#### 品質改善活動の展開

三菱電機グループでは、製品の開発・設計段階からの品質の作り込みを始めとして、開発・設計から製造・出荷後のアフターサービスに至る全プロセスにおいて品質改善活動を推進し、製品の品質・安全性・信頼性の弛まぬ向上に取り組んでいます。

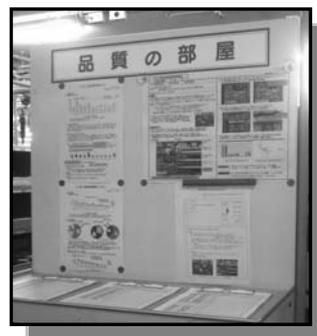
また、過去の不具合、先人の知恵からの教訓や解説、改善事例などをデータベース化した品質関連情報共有システム「失敗 GAKU 知恵 Q 増」を構築、全社で



活用し、品質作り込みや品質改善対策、不具合の未然防止・再発防止、若手技術者への教育などに効果をあげて

います。また、失敗事例を教材にして、体系的に教訓を学べるeラーニング「失敗から学ぶ」や、失敗事例や改善事例を展示した「品質の部屋」を各部門に設置し、社員教育に活用しています。

更に、設計段階での「品質設計書」で設計値の裏付けを残す仕組みや製造段階においても品質の「見える化」を図り、不具合への迅速な対応と未然防止に取り組み、その内容を開発・設計部門などへフィードバックして品質向上に効果をあげています。



**協会だより** 好川会長が塾長となり「品質経営塾」を開催しています。

好川会長を塾長に、会員企業限定、参加費無料の「品質経営塾」を昨年10月からスタート。昨年12月には第2回目を、ものづくりの原点をふいかえるべく、産業技術記念館で実施。

佐吉翁から喜一郎氏につながる、人力織機から自動織機への変遷、加えて材料となる糸の品質向上にまで目をむけた研究開発の過程を詳細な解説付で約2時間見学。「品質は工程で作り込み」そして「品質を上げると生産性があがる」の実態を学びました。

第3回目は2月16日午後を予定しています。

ご関心有る方は、担当：研修事業部 細見まで。

(052)581-9841 E-mail: jun.hosomi@cjqca.com



## furuyaの品質SAIKOU

20年以上も前のことになるが、筆者が東京で受講した品質管理ベーシックコースの最初の講義は、ひらがなの「あ」の字をノートにいくつも連続して書くことから始まった。何でそんなことをと思ったものだが、実際書いてみて、後でそれらの文字をよく見ると、どれも微妙に形が異なっていることに驚かされた。そもそも下手な字ということでは揃っていたが・・・。人間の動作は、毎回同じように動いていると見えても、実際は微妙に異なっている。「ばらつき」があるということを教えられた。

よく週末に家内と農協へ米を買いに行く。3kg1000円の米は誰が買っても1000円だが、精米機の中に何粒が残っているのでは、などと考えてしまう。重さは精密に量ると微妙に異なっているのかもしれない。「ばらつき」が存在するのである。せこい己を嘆くとともに、許容できるレベルは、人により異なり、年とともに「変化」していくのであろう。

前回のコラムで、品質とは「もののよしあし・ねうち」と記したが、本質的には「ばらつくもの」「変化するもの」なのである。

お客様のご満足を獲得し続けるためには、「ばらつき」を小さくして、「変化」する許容範囲の中で、安定させ続けなければならない。「品質管理」とは「ばらつき」「変化」との戦いと言える。終わりのない戦い(いくさ)を勝ち抜いていくためには何が必要となるのか？読者諸氏もぜひ考えてみて欲しい。

**【編集後記】** 新しい年が始まりました！皆さま、どんな夢、目標を描かれているでしょうか。昨年は大震災、台風、洪水等々、大きな自然災害や事件も多く、立ち止り振り返ることの多かった一年でしたが、今年は竜のごとくしなやかに上へかけ昇りましょう。(細)

(発行元)

中部品質管理協会

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目10番27号  
TEL (052)581-9841(代表) FAX (052)565-1205  
E-mail: cqca@cjqca.com